

2015年
8月

つぼみ伝言板

いづな学園こどもの森幼稚園

つぼみ子育てサロン

こどもの森幼稚園 026-239-3302

つぼみ専用電話 080-6932-8483

いよいよ、お山の夏がやってきました。お山で涼しさを感じ、夏に出会える草花や虫さんにも出会いながら、楽しく遊びたいと思っています。元気なみんなの笑顔が楽しみです。お山の夏を満喫する活動です。飯綱は県外からの観光の方の多い時期でもありますので、自動車の運転など、くれぐれも気をつけておいでください。雨天により活動が変更する場合があります。メールプロでそのつど連絡配信いたしますので必ずお確かめください。



8月の予定

23日(火) 25日(木)

戸隠森林植物園で遊ぼう

春にも行った植物園で、夏の草花を楽しみながら、木道を歩きます。市内の暑さをよそに、涼しい森の中のんびりお散歩しましょう。

集合時間 10:15

集合場所 戸隠森林植物園内

「八十二森のまなびや

～ecology Bank82 戸隠森林館～」前

解散時間 13:00

* 少しの雨なら、雨降り散歩と学習館を見て解散します。変更はメールプロでお知らせいたします。

30日(火) 9/1日(木)

大座法師池で遊ぼう

だいだらぼっちの足跡という伝説がある、大きな池の周りには、水辺の植物やお魚も見られます。ぐるっとお散歩していくと、雄大な飯綱山が見られて気持ちいいですよ。

自動車は「小天狗の森」の駐車場に止めてください。

場所の分からない方は、お問い合わせください。

集合 10:00

解散 13:00

* 雨天時の変更はメールプロでお知らせします！

☆観光シーズンに入り、山道に不慣れなドライバーも多くなります。自分が気をつけて運転していても、対向車が飛び出してくる恐れもあります。お子さんの大切な命を守るため、チャイルドシートをしっかりと着用してください！

☆虫やマダニから身を守るために、長靴・長ズボン・長靴で参加してください。

☆集合時間はできるだけ守ってください。朝のお集まりからが、つぼみの活動です！

「天国」 新見南吉
おかあさんたちは
みんな一つの、天国をもっています。
どのおかあさんも
どのおかあさんも持っている
それはやさしい背中です。
どのおかあさんの背中でも
赤ちゃんねむったことがありました。
背中があつちうちちにゆれました。
子どもたちは
おかあさんの背中を
ほんとうの天国だとおもっていました。
おかあさんたちは
みんな一つの、天国を持っています。
(おかあさんの背中が天国。そのぬくもりをずっと覚えていてほしいと思います。その宝物を替えるのは、今ですよ！
おかあさん)

<野山のハチにご注意を>

(信濃毎日新聞より)

夏は野山に行く機会が増えるが、ハチの活動も盛ん！刺されて死亡する人は7～10月を中心に年間約30人に達し、毒ヘビやクマの犠牲者よりも多い。ほとんどは、急激なアレルギーによるアナフィラキシーショックが原因で迅速な治療と予防が欠かせない。

ハチの毒の成分のヒスタミンやヒアルロニターゼなどが痛みや腫れ赤血球の損傷などの原因となる。が、一度にたくさん刺された場合を除きハチ毒だけで死ぬことはまれで、こわいのはアナフィラキシーショックです。

一度刺されると、体内に抗体ができ、次に刺された時に急激なアレルギー反応で全身のじんましんや呼吸困難、血圧低下などを起こす。ショック症状が出る人は数%ですが、刺されて5～15分でおきるので、できるだけ早く医療機関で治療を！

- ・巣をみつけたら近づかない。
- ・あごを「カチカチ」鳴らすのは威嚇行動。出合ったらゆっくり逃げる。
- ・早い動きに反応するので、手などで払うのは危険。近くを飛ばれたら、石になって動かない。静かにゆっくりしがむ。
- ・虫除けスプレーは効果なし。
- ・毒の吸出し器は、刺されてすぐなら効果がある。
- ・刺されたらその場から逃げる。(攻撃フェロモンをだし仲間を集めるため)

危険なのは、主にスズメバチ、アシナガバチの仲間です。もし刺された時は、1,逃げる 2,毒を吸出す 3,水で洗い流し冷やす(冷す事で毒がまわるのを抑えます) 4,様子を見て医療機関へまたは救急車

7月のつぼみ

♪戸隠展望苑♪

広々とした お散歩道で びっくり! 鹿? 猪? の頭蓋骨と遭遇しました。熊の餌食になったのか? 自然の中ではこういったことも当たり前にあるのです。人間が、お邪魔している森の中 自然の中 大切に遊ばせてもらわないとね。



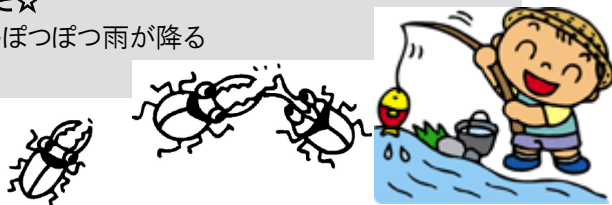
♪焼きそばを焼こう♪

野外でじゅうじゅうと ダイナミックに焼いて食べたアツアツの焼きそば、おいしかったね



☆わらべうた☆

ぽつんぽつぽつ雨が降る



絵本の部屋

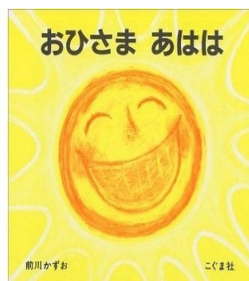
絵本を選ぶのにタイミングというの、なかなかおもしろい要素です。「季節を感じる」そんな選び方も楽しいと思います。たとえば、海にいたり、夏の虫や草花に出会ったとき、絵本のなかに描かれているファンタジーなものがイメージをふくらませ、より興味をわかせてくれることでしょう。遊びと絵本がつながっていると、楽しいね♪



「なつのおとずれ」

かがいひろし作絵
PHP研究所

夏の爽快感があり、この時期ぴったりな1冊です。夏の風物詩達の可愛さと、滑り台のように青空から夏が飛んでくるライブ感に、ちょっとわくわくしてきます! 生き生きと描かれている太陽が、熱いけど身近な存在になりそう!



「おひさまあはは」

作/前川かずお
(こぐま社)

ページをめくれば、お花、子犬、お魚などみんなみんな「あはは」と笑顔にあふれています。声に出して呼んでいるうちに、こどもも大人も元気が出てくる絵本です。

<野山のマダニにご注意を!>

近年、野山でマダニに刺されて重症熱性血小板減少症候群ウイルスに感染したという症例を耳にします。野山に行く時は「肌が露出しない服を着る」、野山から帰宅したら「お子さんの手足や耳の後ろなどを確認する」等の対策をお願いします。刺された当初のマダニは小さいですが、血を吸うと大きくなり、血豆などと勘違いして引き抜いてしまうこともあるようです。お子さんの皮膚に疑わしい異変を見つけたら、すぐに皮膚科を受診して下さい。以下に、参考となりそうな記事を引用しましたので、読んでおいて下さい。

マダニは孵化した後、草陰に隠れて獲物が通り過ぎるのをじっと待ちます。そして丁度通りかかった犬やその他の動物、時には人間をも含みますが、それらに必死のダイブを試みます。

マダニはその生涯で3回吸血をしますが、1回につき約10日程吸血し、体がバンパンに膨れ上がるまで離れません。



肌の露出を抑えた服装や忌避剤でどんなにマダニ対策をしても、時には刺されてしまう事もあるでしょう。

慌てて引き剥がしたい気持ちは分かりますが、無理にそうすると口器が皮膚に残ってしまい腫瘍になったり、その部分が化膿する事もありますので、出来れば発見時(刺された状態)のまま皮膚科を受診される事をお勧めします。

刺された全ての人が発症するわけではないので、闇雲に恐れる必要はありませんが、それでもSFTS(重症熱性血小板減少症候群)、日本紅斑熱やライム病などの感染症を媒介する事がありますので、刺された後は体調の変化に十分気をつけましょう。刺された後、もしも発熱、頭痛、筋肉痛、食欲不振、腹痛、下痢、倦怠感、発疹などが見られた場合、命に関わる事もありますので、即刻医療機関に診てもらいましょう。

<http://m-contents.info/danitaiji-4> より抜粋